

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス
...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

第25号
2004.12

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
URL: <http://www.npocommons.org>
E-mail: info@npocommons.org

ニートと向き合う

コ
ラ
ム

ニートを知っていますか。就労も就学も訓練もしていない青年をいいます。11月に県内で続けて起きた事件は、多くの人々に衝撃を与えました。その直後に知事が状況を把握することを指示した事からもわかるように、青年の成長期における様々な問題について、その解決のための環境をつくっていくことは緊急の課題になりました。ニートが生まれてきた背景には、雇用の調整を若年層で行ってきたという厳しい就労環境もあるようです。現在ニートは、毎年増加し40万人になりました。家に長くこもっていることに目がいきがちですが、その状況になった人が、再度社会に関わろうとするときに必要な、きっかけ、情報、相談相手、参加できる場などが少ないことが課題です。この課題は他人事ではありません。そして家族・当事者だけでなく社会的に解決すべき課題でもあります。では、私達になにができるのでしょうか。ニートに関しての対応ができる団体や場に関する情報を知らせることもできます。青年の居場所の確保、社会体験、就労訓練などを可能にする環境をつくりましょう。環境づくりには心ある人ならば誰でも関わられます。青年たちとつき合ってください、職場体験をさせてください。こどもが、青年が、希望を持てる社会にしていきたいでしょう。

(文 副代表理事 朝川君代)

茨城県認証NPO法人

247(11月26日現在)

内閣府認証県在NPO法人

66(10月31日現在)

広がれ、学生の地域活動ネットワーク



茨城学生活動支援組織 ぐっぴい
代表理事 木村 亮介 さん

N
P
O
の
ひとびと

地域に目を向ける

2001年、筑波大学社会学類に入学した木村さんが関心を持っていたのは意外にも国際問題だった。しかし、授業では国内の話題が中心。何で日本にばかりこだわっているのかと不思議に思っていた。

木村さんが地域に目を向けたきっかけは「地域通貨」の授業。地域経済の衰退、地域社会の崩壊、身近な問題が世界の問題につながっていくことに気づいた時だった。こっちはほうが大切なんじゃないか？そこで、広い視野で地域の問題を学ぶ場を持ちたいと思い、同学年の仲間と「地域社会研究会～SOREST～」を立ち上げた。

学生に地域活動の環境を

会をつくってから、様々な人の紹介で地域で活動する面白い人々に出会った。そして地域の中にこそ先駆的で、生活に密着した取り組みがあると考えようになった。「こんな面白い取り組みを学生が知る機会がないのはもったいない」。地域で活動することを学生に広げ、活動する学生が情報交換できるようなネットワークをつくり、より学生が活動しやすい環境をつくりたいと思った。どんな課題があるのか、自分たちが提供できることは何か、ニーズとシーズを確認・共有していく場をつくり、学生の活動をPRして盛り上げていこうと、それまでに知り合った方や、先輩などの力も借り、ぐっぴいを

茨城県内の学生のネットワークをつくり、それぞれの地域・分野での活動を支援したりプロデュースしている「茨城学生活動支援組織ぐっぴい」(=Green Power of IBARAKI)。地域社会をフィールドに学生ならではの若さと新しい発想で様々な課題に、影となり日なたとなって取り組んでいるぐっぴい代表理事の木村亮介さんにお話を聞いた。

立ち上げたのは2年生の9月。

他大学の学生へは地元新聞社の方の協力を得たり、新入生向けサークル紹介冊子なども利用して呼びかけた。

活動を支援し、広げる

現在ぐっぴいのネットワークで活動したり、そのための情報交換をする会員は約100名。その運営を担っているスタッフは約20名。主にメーリングリストを活用している。学生団体の活動をアピールするために、茨城新聞のユースの団体紹介のコーナーに登場する団体を毎週

すのも簡単なことではなく、苦労してきた。学生同士、直接声をかけていくことが一番だが、ファシリテーションやコーチングの手法を学び、スタッフのスキルアップも図ってきた。同時に、参加してきた人の興味関心をできるだけ頭の中にストックしたり、関わってくれそうな人をリストにしたりして、機会あるごとに声をかけているという。そして、当初筑波大生ばかりであったのも、最近では県内各校にメンバーも広がってきている。

地域社会を変える

卒業を控え、これまで引っ張ってきたぐっぴいをどのように引き継いでいくか。様々な分野でそれぞれの活動を始める学生を増やすことはできた。しかし、そのためのコーディネーターが「ぐっぴい」本来の役割。「ぐっぴいは無くなくても仕方ないけれど...」と笑いながらも、人材育成と継続性の課題は重大と考えているようだ。

卒業後は、中小企業向けに新規事業のための融資をしていく仕事に就く。新しい挑戦に関わることで、「少し世の中が変われるのでは」と夢を語ってくれた。きつとどこへ行っても、地域社会を変える取り組みを応援し続けてくれるはずだ。

(文 草間多佳子 写真 井坂美子)

茨城学生活動支援組織

ぐっぴい 事務局

〒305-0005

つくば市天久保3-14-6

妻木ハイツ101

Tel 029-856-8356

E-mail: gpi@net-tsukuba.com

<http://roo.to/gpi/>

TOPICS

行政職員向けNPO講座開催される

11月25日、大好きいばらき県民会議と県内の中間支援NPOの共催で、県や市町村職員を対象にした研修がひらかれ約70名が参加。研修では、まずNPOや協働に関する説明がなされた。そして具体例として、つくばアーバンガーデニングがつくば市と協働している公園や花壇の整備、日本スポーツ振興協会のスポーツ教室や大会、ひたちNPOセンター・with youが日立市のかみね動物園へ提案活動を行なっている事例などが紹介された。

新たな非営利法人制度固まる

社団、財団、中間法人を統合し新たな非営利法人制度をつくる議論がまとまった。新法人制度は2階建てで、1階は準則主義で設立でき、2階に移る際に公益性を判断。税制論議は今後譲られたが、1階の法人は解散時残余財産が分配できるため、会費寄付も原則課税の可能性が高い。縦割りの主務官庁制が廃されることは意義があるが、分配(私物化できる)としたことは、寄付の受け皿としての非営利法人の発展に重大な問題を及ぼすだろう。

認定NPO法人制度の改正集会開催される

2万法人の0.1%しか認定されていない制度を改正するための集会在12月4日に水戸市で開催され、衆議院議員の赤城徳彦氏と大畠章宏氏はじめ7人国会議員秘書を含む70名が参加。現制度の改善要望項目の解説や現場NPOからの問題提起をもとに活発な討論が行なわれ、出席した各議員も、「NPO活動の実情がよくわかった。実態に合わない現制度を改め税制優遇が受けやすい制度にするよう与野党協力して取り組む」と約束された。

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

イベント案内

絵画ワークショップ&海外公演報告会&クリスマス会 - 参加者募集 -

日程 12月23日(木)

絵画ワークショップ
午後3時~4時半 知的障がい児・者対象 参加費 500円
*ガイドヘルプ・送迎(要申込)あり。
講師 田中みわ子さん(筑波大院生・障害者身体表現研究)

海外公演報告会
午後4時半~5時 一般対象
参加費 無料
ベルギー公演、香港公演写真を中心に活動を報告。海外の障がい者アートに関心のある方はぜひ。
クリスマス会 午後5時~6時
どなたもご参加いただけます。
12月20日(月)までにご連絡ください。
参加費 1,000円
軽食をいただきながら交流会。
一品持込歓迎。

場所 田井ミュージアム(つくば市神郡54)
主催・申し込み NPO法人 自然生クラブ
Tel&Fax 029-866-2192
E-mail: jinenjyo@minos.ocn.ne.jp
「先生教えて、あの子のこと」
~こころの問題を抱えた子どもたちへの向き合い方~

日時 12月25日(土)午後1時~4時
場所 オーシャンビュー 大洗
講師 服部智先生(下館市立下館中学校教諭「情緒障害特殊学級 担任」)
木下美直先生(茨城県福祉相談センター 児童福祉司)
田島秀紀先生(市原学園法務教官)

参加費 2,000円
主催・申し込み・問い合わせ
NPO法人 茨城県精神障害地域ケア研究会
Tel&Fax 029-244-2623
E-mail: free@shiseiken.or.jp
映画「あしがらさん」参加者募集
だれもが一度は見かけたことのある、路上で生活しているひとたち。でも立ち止まって気にかけてことはないでしょう。このドキュメンタリー映画はそんな「あしがらさん」をひとりの若者が見つめ続けて生まれた物語です。
日時 05年1月8日(土)
午後1時半~2時45分 上映
午後3時~4時 飯田監督トーク
場所 水戸市福祉ボランティア会館 大研修室(ミオス)
参加費 一般 前売800円、当日1,000円
会員・学生 前売500円、当日800円
主催 「あしがらさん」上映ネットワークin茨城、NPO法人 水戸こどもの劇場、まごころ ネットワーク
申し込み・問い合わせ
NPO法人 水戸こどもの劇場
Tel&Fax 029-255-0908
E-mail: gekijyou@bird.to
http://www.gekijyou.bird.to/
「被災地の子どもたちにお年玉を贈ろう」
- 中越地震被災者支援チャリティ映画会 -
今回の中越地震で未曾有の被害を受けた被災地の方々、特に子どもたちを少しでも励ましたいと願って企画したものです。この上映会の収益金は全額、義援金として送らせていただきます。上映作品は、小千谷

市・山古志村を舞台に描かれた、児童映画の名作「鯉のいる村」(神山征二郎監督)と、阪神淡路大震災で被災した子どもたちが逞しく成長する姿を描いたアニメ「地球が動いた日」(岸川悦子原作)の2作品です。
日時 05年1月10日(月)
「鯉のいる村」午前10時~11時
「地球が動いた日」午前11時10分~午後0時半
「鯉のいる村」午後1時半~2時半
「地球が動いた日」午後2時40分~4時
場所 水戸市民会館ホール
チャリティ入場料 中学生以上一人1,000円
小学生一人800円
主催・問い合わせ 茨城映画センター
Tel 029-226-3156
いいうまセミナー 2004「情報リスクとNPO」 4回シリーズ
イベント参加者や会員などの個人情報、どう管理していますか?参加者やサービス利用者の個人情報が流出すれば、情報の悪用など様々な影響があります。そのような事故やトラブルの発生の予防と、万が一発生したときの被害を最小限に抑えるために、セミナーを通じてNPOに必要なリスク・マネジメントを学び、また考えてみませんか?
第3回「個人情報保護法とNPO」
日時 05年1月12日(水)午後6時半~8時半
場所 東京ボランティア・市民活動センター(新宿区 セントラルプラザ10階)
講師 清水勉さん(さくら通り法律事務所 弁護士)
概要 2005年4月から施行される「個人情報保護法」。個人情報取扱業者の要件は?取扱業者にあてはまらなくても、どのように個人情報を扱えばいいか、法律の観点から学ぶ。
定員 30名(先着順)
第4回「危機広報」
日時 05年2月23日(水)午後6時半~8時半
講師 篠崎良一さん(共同PR株式会社 取締役コンサルティング局長)
概要 情報リスクが発生したとき、マスコミやインターネットを通じて社会的信用が失墜するなど、リスクによる損失が拡大しないための取り組みを、企業の事例から学ぶ。
定員 15名(先着順)
参加費 個人2,000円、団体3,000円
協力 NPO法人 市民コンピュータコミュニケーション研究会(JCAFE)、NPO法人 パブリックリソースセンター
主催・申し込み・問い合わせ
NPOリスク・マネジメント・オフィス
Fax 03-5297-8350
E-mail: nporisk@fmail.plala.or.jp
NPOの広報セミナー
日々の活動の中で、後回しにしがちな広報活動。しかし、NPO団体にとって最も大切なミッション、その「思い」を多くの人に共有してもらい、活動を理解してもらうためにはどうしても必要なものです。今回のセミナーでは、知らせる努力の大切さ、組織を正しく知ってもらうための情報発信の方法、広報誌の作り方、上手なプレゼンテーションなどについてレクチャーとワークショップを通じて学びます。
日時 05年1月14日(金)午後1時半~4時
場所 茨城県県南生涯学習センター

レポート体験

忙しい一日の始まり
11月30日、「今日はとっても忙しいわよ、覚悟してね」と、笑顔で出迎えてくださったつくばクリエイティブ・リサイクルの土屋正子代表。10月5日にオープンしたばかりのなみきプラザの店内および再生工房を見学しながら、午前中は荷受、午後は店舗での手伝いという体験の日程を聞く。
程なくして、午前中を同行してくださるスタッフのMさんの登場で、いよいよ荷受に出発。まず1件目はタンス・イス・ワゴンなどを回収。この時点で軽トラの荷台はいっぱいになり、プラザに戻って荷を降ろすことに。回収した荷を見上げ「よかった、これでゴミにならずにすむものね」と、笑顔の土屋さんがいた。
次は、茎崎での回収。「大事にしていたソファ、使っていただけたらうれしいわ」と依頼者。その荷を沼崎のリサイクル広場へ。すでに、つくば市内50キロ余を走行、沼崎に到着した。沼崎の施設は旧幼稚園舎を改修した建物だった。ここでは主に家具を展示販売し、家具を再生する工房もある。12時過ぎ、電話での急な回収依頼。「どうしましょう」という職員に「行きまーす」とMさん。行程票と地図をすばやく用意し、なみきプラザに戻る。



作業中の井坂

午後はなみきプラザの手伝いを
午後一番でディスプレイを変更し、店全体をグリーンに統一。メインテーブルには「和」をイメージした品々を置き、すっかりお店の雰囲気が変わった。一緒に作業にあたった方はボランティア。また、裏の工房では到着した荷をきれいにし、家具を調整、衣類を分類するなどの作業が続いている。この日は、17.7kg分の荷が回収され、再利用の機会を得た。
ごみにするのは簡単だが、物を救うためには手間隙がかかることを実感した。ここでは新品の靴下なども市価の3分の1で購入できるとあって、上手なお買い物の穴場となっている。24名の来店があり、5,680円の売上があった。



完成したディスプレイ

貫き通す思い
NPO法人つくばクリエイティブ・リサイクルは、約30年の社会活動が基盤となっている団体だ。発展途上国への援助のためのリサイクルバザーと、地域でのゴミ減運動の実績が法人化を促した。貫き通した「物を大事にする心」と、「どのような環境にある子ども、人も大事にされなければならない」という思いが、この団体の活動の根底にある。
2か所の広場を核に「ありがとう」の言葉と人の「和」をもってリユースしてもらう。リサイクルの拠点としてだけでなく障害者4名、高齢者7名、3つの障害者団体が関わっている。さらに、地域の人々への啓蒙講座も開催するなど多彩な取り組みを行い、「融合の場」を目指している。

NPO法人
つくばクリエイティブ・リサイクル
「つくばリサイクル広場・なみきプラザ」
〒305-0044 つくば市並木3-16-1
Tel 029-857-9870

ごみの有料化を受け、新しい物を買えば済むという時代は終わろうとしている。物を大切に使う気持ちを取り戻し、やさしい心呼び起こされて体験を終えた。
本当にお世話になりました。
(文 井坂美子=茨城NPOセンター・コモンズスタッフ)

講師 紅邑晶子さん
(せんだい・みやぎNPOセンター)
定員 40名(先着順)
参加費 2,500円(会員2,000円)
問い合わせ
NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
E-mail: info@npocommons.org



続・小さな祠

いつか町内で祠をお世話している人を見かけたことがありました。次に会ったら声をかけようと思っていたけれど、それ以来一度もお目にかかれずにいます。
最近この近所のいたるところに祠があることが気になっていす。道沿いに、民家の狭間に、ファミレスの角に、駐車場の真ん中に、私たちの事務所の裏にも、昔在ったものをそのまま移すことなく、守ってきているのでしょうか。そこもここも、何があったところなのだろう。そんな思いに駆られ、もう一度あの人に会えないかなと思うのです。一期一会という言葉がありますね。今、その瞬間を大切にしたいものです。
(文 草間多佳子)

訂正とお詫び
第23号2面「NPO体験レポート」コーナーのレポーター石田奈津美さんの所属大学名に誤りがありました。正しくは「宇都宮大学」です。訂正してお詫び申し上げます。

- 本紙常備施設・お店
- ハモナカフェ(Tel 029-871-2157) 水戸芸術館(Tel 029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel 029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel 0294-72-8888) 自然食レストラン「パンブキン」(Tel 0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel 0294-72-8888) カフェ「ピアニッシモ」(Tel 029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel 090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel 029-246-9689) 県生涯学習センター(Tel 029-228-1313) 交流サルーンいばらき(Tel 029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel 029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel 029-309-4141) まちの駅みと(Tel 029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz n(りつん)」(Tel 029-856-0009) つくば市民活動センター(Tel 029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel 0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel 0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel 0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel 0296-24-3530) 県生涯学習センター(Tel 0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel 029-826-1101) 県立図書館(Tel 029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel 029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel 029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel 029-248-4051) まちかど情報センター(Tel 0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel 029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel 029-273-3281) 阿見町町民活動センター(Tel 029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel 0297-58-3710) コープフレール水戸店(Tel 029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel 029-221-8836)

あ と き 今年の漢字一文字発表、「揺」。大地が揺れ、球界が揺れ、歓喜に揺れ、相次ぐ台風の人々が動揺した一年。「災いを転じて」とすることが出来るのか(公威) 師走というけれど、走るの先生だけではないですね。コモンズもみんな走ってる... (くま) コモンズの「思い」を伝える、より「働き」のある紙面を作っていきたいと考えています(くり)